報道発表資料

東京消防庁　Tokyo Fire Department

平成２６年１０月２９日

学園祭における火災予防対策について

多数の者の集合する催しにおける火災予防対策の充実強化を図るため火災予防条例の一部が改正され、本年８月１日に施行されました。これにより、学園祭等の学校行事についても消火器の準備等の火災予防対策が義務となりました。

当庁管内の催しにおいては、条例施行から三カ月余りの間に三件の火災が発生しており、また、学園祭ではカセットこんろに起因する事故が発生しています。（別紙参照）

このことから、秋の学園祭シーズンが本格化するこの時期に、学園祭における火災予防対策指導を以下のとおり実施します。

１　実施日時及び場所

平成２６年１１月１日（土）　９時３０分から１０時１５分まで

千代田区紀尾井町７番１号　上智大学四谷キャンパス内　（ソフィア祭）

２　主な指導内容

⑴　使用する火気使用器具等には消火器を備えること。

⑵　カセットこんろ関係

①　カセットこんろを覆うような大きな鍋や鉄板などの調理器具は使用しないこと。

②　カセットこんろを２台以上並べて使用しないこと。

③　カセットこんろの周囲は、常に整理及び清掃に努めるとともに、燃料その他の可燃物を放置しないこと。

⑶　プロパンガス関係

①　プロパンガスのボンベは、その残量によらず、転倒しないよう鎖等で固定するとともに、使用していないボンベのバルブは閉鎖すること。

②　プロパンガスのボンベを重しにする等、バルブの緩みに繋がる不安全な使用はしないこと。

３　取材にあたっての注意事項

⑴　取材を希望される方は、１０月３１日（金）１０時００分までに広報課報道係までご連絡ください。

⑵　取材される方は、当日１１月１日（土）９時１５分に、上智大学四谷キャンパス東門入口付近にて受付を実施します。

⑶　取材にあたっては、自社腕章を着用してください。

⑷　会場では係員の指示に従ってください。

問合せ先

東京消防庁　（代）電話 03-3212-2111
防火管理課指導係　内線 5122　5125
予防課火気電気係　内線 4782　4787
広報課報道係　内線 2345～2350

別紙

１　条例施行後の催しにおける火災概要

⑴　亀戸天神社夏祭り

神社の境内で開催されていた夏祭り会場において、模擬店でフランクフルトを鍋でゆでていたところ、カセットこんろのボンベが破裂し、漏れたガスにカセットこんろの炎が引火し、周囲にいた４名が負傷したもの。

①　発生日時　平成２６年８月２日１８時４６分頃
②　所　　在　江東区亀戸三丁目　亀戸天神社
③　焼損物件　ビニール紐等
④　負 傷 者　４名（中等症２名、軽症２名）

⑵　神宮外苑花火大会

移動販売車内のガスこんろでカレーを温めていたところ、鉄板焼き器のバーナの炎が立ち消えし漏れたプロパンガスが大型ガスこんろの炎に引火し、周囲にいた３名が負傷したもの。

①　発生日時　平成２６年８月１６日１７時３５分頃
②　所　　在　新宿区霞ヶ丘１番　聖徳記念絵画館敷地内
③　焼損物件　車両若干（樹脂製固定補強材若干）
④　負 傷 者　３名（軽症１名、搬送辞退２名）

⑶　池上本門寺御会式

露店において、飼い犬のリードをＬＰＧボンベに繋いでいたところ、飼い犬がリードを引っ張りボンベが転倒し、コックが開いたことによりフライヤーに引火したもの。

①　発生日時　平成２６年１０月１２日１８時２５分頃
②　所　　在　大田区池上４丁目２４番
③　焼損物件　テント２等
④　負 傷 者　なし

２　学園祭におけるカセットこんろによる事故

⑴　五徳を裏表反対に使用①

平成１１年１０月に文京区内の大学の学園祭において、カセットこんろの受け皿（五徳）を反対（裏）に設定したまま使用し、カセットボンベが過熱され爆発した。この事故で、４人が負傷し、うち男子学生２人が中等症と診断された。

⑵　カセットこんろを２台並べて鉄板を乗せて使用

平成２０年９月に豊島区内の高等学校の文化祭において、カセットこんろ２台の上に鉄板を置き、焼きそばを調理中に、カセットボンベが過熱され爆発した。この事故で１５人が負傷し、うち男子生徒２人が重傷、男子生徒３人、女子生徒１人が中等症と診断された。

⑶　五徳を裏表反対に使用②

平成２３年１０月に高等学校の文化祭において、校庭中庭でカセットこんろを使用して調理していた途中に、カセットこんろの火が消えたため、男子生徒がカセットボンベを取り外したところ、手元で破裂し左手を受傷した。事故の起きたワッフルコーナーではカセットこんろ３台を使用していたが、２台は受け皿（五徳）が反対（裏）に設定され、その上にフライパンを置き使用していた。